

キャラクター名
緋衣 聖路 (ひごろも せいじ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ	ワークス	中学生	カヴァー	中学生
オプション	エンジェルハイロウ	年齢	13	性別	男
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	30 %
出自	待ち望まれた子	経験	長期入院	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	7
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀	白兵	4r+4	4	10		親が買ってきた厄除けのオカルトグッズ
	白兵	9r+4	4	16		
隠密	白兵	11r+4	4	16		
100	白兵	12r+4	4	19		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
造血剤	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費	
吸血鬼	P	N		
両親	P 幸福感	N 食傷		
同級生	P 友情	N 疎外感		
仁科ミヤビ	P 友情	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-Lv (下限7)							
鮮血の一撃	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	EA47、ダイス+ [Lv+1] HP2消費。							
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	EA60、戦闘移動を行う。離脱可能、エンゲージ、封鎖無視。							
血に飢えた跳躍	2	4	メジャー	武器	単体	対決	リミット	
効果:	HR79、ハンティングスタイル使用后、白兵攻撃+ [Lv×3]、隠密状態ならダイス+2。							
陽炎の衣	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	EA21、メインプロセスの間隠密状態になる。							
赤き聖餐	1	3	セットアップ	至近	単体	自動	Dロイス	
効果:	LM78、対象の戦闘不能を回復し、HPを [Lv×5] 点まで回復。							
血の彫像	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	EA55、血液による彫像を作る。							
日常の代行者	★	-	常時	効果参照	効果参照	自動	-	
効果:	EA55、自分そっくりの分身を作る。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称:ボク 二人称:きみ
誰に対しても敬語。気弱な感じ。何でも受け入れるぞ。

生まれつき体の弱い中学生。アルビノ体質。
親にとって悲願の第一子であった聖路だったが、体が弱すぎて幼少期は入退院を繰り返す日々を過ごす。親は聖路のしたいことを何でも受け入れてくれた。元氣になりた〜い！と願っていた聖路だったが、それは叶わず学校もあまり通えない日々を過ごした。
薬にもすがる気持ちで親はお守りなどのあらゆるオカルトグッズを買い、試した。
その中にレネゲイドウイルスに感染した妖刀があり、その刀身に染み付いた血が聖路の中に宿り覚醒した。
それから以前よりもある程度融通の利く体になったものの、太陽光に弱くなりとにかく食べれなくなるなどの弊害もある。
そう、聖路は吸血鬼になってしまったのだった。親は「そっか〜」という感じ。聖路も「そっか〜」という感じ。全肯定。

聖路は自分の人生を受け入れていた。体が弱いのも、同級生と同じように走り回れないのも、みんなが人一倍自分に気を使うのも。だから親が自分に長生きしてほしいということも受け入れた。色んな辛い治療法もできるだけやった。自分のためというより、それは周りのためだった。でも、本当に周りのことを思うのなら自分は生まれてこなければ迷惑もかけなかったのではないかと。そんな思いが聖路の中にあつた。聖路自身も気づかないくらい深い深い心の底に。
両親が自分などに構わずに済むように。自分みたくいながらみに人生を捧げずに済むように。
親の気持ちも無碍にできない聖路は妖刀に宿るレネゲイドウイルスによってオーヴァードとして目覚めた。
目覚めた後の聖路の心にも、いまだその気持ちは消えずに潜んでいる。
だから、友人の「仁科ミヤビ」が消えた事件。仁科ミヤビが心配という気持ちももちろん本当だ。
その事件によって自分も死ぬことができたなら、という気持ちもおそらくはある。